

## 第3次行財政改革前期実施計画改訂の概要

## 1. 改訂の考え方

第3次行財政改革では、行革を単なるコストカットではなく、住民生活の豊かさを目指した自治を希求した活動でなければならないとし、理念として大綱に「豊かな地域社会を実現するための最適な行財政運営」を掲げています。

より高い目標を設定し、新たな行革に取り組み、質の高い行政マネジメントを行うことで、新しい施策の実行に必要な財源の一部を確保し、3次総の実現と持続可能な市政運営を目指します。

## 2. 改訂のポイント

平成29年度に向けた改訂のポイント

- 行財政改革推進審議会からの意見を反映した取組の追加  
平成27年度の進捗状況を行財政改革推進審議会に報告した際に委員からいただいた意見を反映した新たな取組を追加しました。また、庁内においても新たな取組を検討し追加しました。
- 平成27年度の実績に基づいて指標（目標値）の上方修正  
実績が目標を上回っている取組については、更なる推進に向けて取り組むように、より高い指標（目標値）を設定しました。効果額についても関係する指標の修正にあわせて修正しました。

## 3. 改訂の内容

(1) 取組事業の追加：8件の取組事業を追加し、そのうち6件が行革審の意見を反映したものです。

[追加した取組事業]

◎行革審の意見を反映した取組事業

取組事業 (所管課)	内 容	効果額（単位：千円） (H29～H30)
		指標
日本平動物園レストハウスへの民間活力導入 (日本平動物園)	レストハウス建替え等における民間活力導入について、平成28年度の現況調査、導入施設計画の立案等に基づき、平成29年度以降に、施設の管理運営方式、整備手段・方法等（民設民営 or 公設民営）を整理し、施設計画の基本構想を作成し、募集条件を整理した上で事業の公募を行います。	—
ICTを活用したペーパーレス会議の導入方針決定 (行政管理課、ICT推進課)	ペーパーレス会議の先進市の事例研究や費用対効果等を踏まえ、庁内関係課の協議を経て導入可否を決定し、併せて、導入機器を共有することによりさらなる効率化が期待できるペーパーレス会議の導入も検討していきます。	—
消防団員の入団促進 (警防課)	消防団の活動や、これまで取り組んできた制度改正等を広く市民に周知し、入団が期待できる女性や学生等の若者の入団者の増加を図るため、SNSの活用やカラーガード隊の活動等により、引き続き広報活動を強化します。	前年度からの増員数 10名
道路サポーター制度の利用推進 (道路保全課)	新規登録団体の拡充及び既存団体への支援により、地域住民と行政との協働による道路の維持管理を推進します。	— 道路サポーター登録団体数 H30 125団体
附属機関等への市民参画の推進 (行政管理課)	年間の市民委員の公募を一覧にし、静岡シズンカレッジの受講生（市のまちづくりや課題解決に興味・関心を持っている方）に応募を呼びかけます。各種附属機関等の市民委員公募の際に、関係団体の協力を仰いで応募を呼びかけるなど、効果的なPRのための工夫をします。	— 効果的な公募の実施 H30 2件

取組事業 (所管課)	内 容	効果額（単位：千円） (H29～H30)
		指標
オクシズの情報発信 (中山間地振興課)	オクシズのブランド戦略を構築するため、専門家とともに調査研究を行い、プロモーションの方向性・計画を再構築します。計画立案後は、計画に基づいたプロモーションの実施、効果判定を行っていきます。	— オクシズ関連施設、イベント入れ込み客数 H30 717千人 (H27 694千人)

◎庁内での検討により追加した取組事業

取組事業 (所管課)	内 容	効果額（単位：千円） (H29～H30)
		指標
エネルギーの地産地消事業 (環境創造課)	「①特別高圧・高圧に該当する市有施設の買電」と「②沼上・西ヶ谷清掃工場における余剰電力の売電」の契約を同一の小売り電気事業者と一括締結し、清掃工場の余剰電力を市有施設で活用します。 また、①②の契約相手方の費用（民間活力の利用）により蓄電池を避難所となる小中学校に設置し、安価な夜間電力を蓄電し、日中の電力が高価な時間帯に放出するピークシフトを行う「バーチャルパワープラント（VPP）」を実施し、災害時等における停電時は、蓄電池の電力を避難所における通信機器等に活用します。	100,000 特別高圧・高圧施設の契約割合 H30 99%
民間連携によるサービス向上及び新規収益の確保 (日本平動物園)	①静岡信用金庫と「連携・協力に関する協定」を締結し、「環境応援定期預金Kizoo」を販売します。（定期預金額の0.01%を寄付、1億円に5枚入園券を寄付） ②㈱文教スタヂオと契約し、フォトカード無料プレゼントやフォトスポットで記念撮影し販売します。（売上の10%相当額を寄付） ①②以外にも、更なる民間事業者との連携を図っていきます。	19,500 民間事業者との連携実績 (協定または契約締結件数) H30 4件

(2) 指標（目標値）の変更：H28.3月改訂時：242指標のうち、45指標を上方修正

[主な取組項目]

- 市民活動への参加の促進

[H27 目標（実績）]

[H30 目標]

市民活動センター利用登録団体数 808 団体（912 団体） 850 団体 → 1,000 団体（H27 比：192 団体増）

- 公衆無線LAN事業の推進

[H27 目標（実績）]

[H30 目標]

アクセスポイント設置数 230 箇所（330 箇所） 370 箇所 → 450 箇所（H27 比：220 箇所増）

- 市税等の収納率の向上

[H27 目標（実績）]

[H30 目標]

市税（現年分） 99.00%（99.22%） 99.17% → 99.36%（H27 比：0.36 ポイントUP）  
住宅（現年分） 95.63%（97.47%） 96.10% → 98.07%（H27 比：2.44 ポイントUP）  
国保（滞納繰越分） 18.22%（18.84%） 18.79% → 20.22%（H27 比：2.00 ポイントUP）

(3) 効果額の変更

(改訂前) (単位：千円)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計
収入増額	1,612,830	2,430,835	2,484,030	2,624,567	9,152,262
削減額	1,481,047	2,145,523	1,198,162	1,390,406	6,215,138
将来負担の軽減 (投資的経費の縮減)	1,632,121	1,592,087	1,843,549	1,593,628	6,661,385
合計	4,725,998	6,168,445	5,525,741	5,608,601	22,028,785



約 27 億円増

(改訂後) (単位：千円)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計
収入増額	1,612,830	2,430,835	3,254,043	3,227,612	10,525,320
削減額	1,481,047	2,145,523	2,313,029	1,655,896	7,595,495
将来負担の軽減 (投資的経費の縮減)	1,632,121	1,592,087	1,843,549	1,593,628	6,661,385
合計	4,725,998	6,168,445	7,410,621	6,477,136	24,782,200

[主な取組項目] ※効果額は4年間の合計額を記載してあります。

(収入増額)	(改訂前)	(改訂後)
・市税等の収納率の向上 (市税：約8億円増、国保：約1.4億円増、住宅：約0.7億円増)	約30.5億円	→ 約40.6億円 (約10.1億円増)
・自動販売機の貸付 (貸付可能台数の増加)	約1.57億円	→ 約1.61億円 (約0.04億円増)
・競輪事業からの繰入金 (売上げの向上)	10億円	→ 11.5億円 (1.5億円増)
・清水病院における病床機能の再編 (病床利用率の増加)	約14.4億円	→ 約16.2億円 (約1.8億円増)
(削減額)	(改訂前)	(改訂後)
・見直し項目設定による予算の定期点検 (予算枠配分の見直し・繰出基準の見直しなど)	約42億円	→ 約55億円 (約13億円増)
・防犯灯のLED化による維持費補助金の削減 (計画を前倒してLED化)	約0.45億円	→ 約0.47億円 (約0.02億円増)
・広告事業導入による印刷・広報物等の経費削減 (広告事業の増加)	約0.39億円	→ 約0.56億円 (約0.17億円増)

4. 行財政改革による効果 (事業・予算への反映)

平成29年度当初予算(案)の概要

予算規模：一般会計 3,116億円 (対前年度 294億円増 +10.4%)

(権限移譲に伴う小中学校教職員関係経費 290.8億円を除き、2,825.2億円 (対前年度 3.2億円増 +0.1%))

全会計 6,293億円 (対前年度 314億円増 +5.3%)

予算編成のポイント

◇第3次総合計画のうち、静岡市がもつ資源を活かし、まちの価値を高める施策(5大構想)に予算を重点配分

◇地方創生総合戦略に基づく人口減少対策や県中部5市2町の広域で連携する取組を予算に反映

◇アセットマネジメント基本方針や第3次行財政改革推進大綱に基づく取組を予算に反映

当初予算に反映した行財政改革の取組の効果額=約24.3億円

◇歳入増額：16.6億円 (市税等収納率の向上=7.8億円、未利用地の売却=6.3億円等)

◇歳出削減額：7.7億円 (事務事業の見直し=3.5億円、公共資産の見直し=3.0億円等)

平成29年度に新規・拡充した主な取組

		区分	局	事業名	予算 (単位:千円)
5大構想	1 歴史文化の拠点づくり	拡充	都市局 観光交流文化局	駿府城跡天守台発掘調査・見える化事業	166,936
	2 海洋文化の拠点づくり	拡充	企画局	海洋文化拠点施設整備推進事業	29,969
	3 教育文化の拠点づくり	拡充	都市局 建設局	草薙駅周辺整備事業(周辺道路整備)	235,000
	4 「健康長寿のまち」の推進	拡充	保健福祉長寿局	地域包括支援センター運営事業	827,164
	5 「まちは劇場」の推進	拡充	観光交流文化局 総務局	「まちは劇場」プロジェクト推進事業	64,700
人口減少対策事業	1 社会減対策	新規	企画局	「いつかは静岡」お試し体験移住プログラム事業	1,945
	2 自然減対策	新規	子ども未来局	保育士等宿舎借り上げ支援事業費助成	11,745
中部5市2町広域連携事業	1 圏域全体の経済成長のけん引	拡充	観光交流文化局	静岡地域連携DMO推進事業	55,000
	2 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	新規	観光交流文化局	サイエンスキッズ育成事業	3,000
アセットマネジメント関連事業	1 総資産量の適正化	廃止	都市局	安倍口団地2号棟外12棟解体事業	168,300
	2 長寿命化の推進	大規模改修	教育局	長田東小学校外1校校舎改修事業	36,000
	3 民間活力の導入	売却	教育局	清水大平青少年の家売却事業	235

※アセットマネジメント関連事業については、新規・拡充の区分とは異なります。

※掲載した事業は29年度に新規、拡充した事業の一部ですが、その財源のすべてが行革の効果によるものではありません。